

日本西洋古典学会

THE CLASSICAL SOCIETY OF JAPAN

第73回大会

2023年6月3日(土) 4日(日)
獨協大学

第1日 6月3日(土)

午前の部 (10:00-11:40)

研究発表

- ① 十川雅浩 | 中期共和政ローマにおける護民官 ——元老院ならびに執政官との関係を中心に
- ② 豊田泰淳 | プロティノスにおける物体の問題 ——物塊 (ὄγκος) と性質の関係に着目して——

ポスターセッション

- 小林卓 | ローマ帝政期の周辺世界におけるミトラス教信仰集団の形成
— 属州ダキアにおける製塩業従事者を中心とする社会的ネットワークの果たした役割—

午後の部 (13:00-16:35)

- ③ 西井奨 | ウアレリウス・マクシムス『著名言行録』8.9.1のValeriについて

研究動向報告 (13:55-14:45)

橋場弦 | 伝アリストテレス『アテナイ人の国制』—その成立と作者をめぐって—

- ④ 上月翔太 | 聖書叙事詩という伝統 ——ラザルス復活場面の比較から——
- ⑤ 足立広明 | 皇妃エウドキアのおデュッセイア ——『ホメロス風聖書物語』にみる古代末期の文化変容——

第2日 6月4日(日)

午前の部 (9:45-12:00)

研究発表

- ⑥ 岡本幹生 | ネロ期におけるアウグストゥスの記憶と歴史の体制 ——セネカの著作を中心に——

※総会 (10:35-11:05)

- ⑦ 泰田伊知朗 | 『羅葡日対訳辞典』の中のVenusについて: 「賽の7つの目」とは?

午後の部 (13:00-16:25)

- ⑧ 相澤康隆 | 説得推論の本質的特徴としての簡潔さ—アリストテレス『弁論術』1357a7-22の解釈を中心に—

フォーラム「西洋古典学とデジタル・ヒューマニティーズ」 (13:55-16:25)

趣旨説明: 周藤芳幸 司会: 川本悠紀子 報告: 石田真衣/岩田直也/河島思朗 コメント: 小川 潤

- ◆ 開催形式: ハイブリッド (本部: 獨協大学)
- ◆ 会場: 獨協大学天野貞祐記念館 (A 棟)
- ◆ 参加方法: 会員に郵送した大会案内および 学会ホームページをご確認ください
- ◆ HPアドレス: <https://clsoc.jp/>